

河内神社報

発行所:〒731-5151広島市
佐伯区五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社社務所

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘の氏神様)

河内神社 秋祭り

13日(日) 例大祭 祭典 午後2時



近くの田んぼを見ると豊かに稲穂が頭を下げています。異常気候にも負けない自然の営みに神様のお力を感じます。日本人は古来、稲作を行い、お米で命を繋いできました。実りの秋祭りは一年で一番大切なお祭りです。大いに祭りを盛り上げ、令和の時代も氏神様・河内神社で今年の豊かな収穫に心より感謝し、日本と氏子・崇敬者の幸せを祈願しましょう。 宮司 山田 茂雄

俵神輿奉納 午後3時半頃

総勢8基の俵神輿が集結します。ワッショイ!ワッショイ!と石段を登り、ぎりぎりまで鳥居を通す姿は必見です。

拝殿で各町内会・子供の代表が御幣を供えた後、参加者全員がお祓いを受けます。各地区を巡った担ぎ手は疲れを吹き飛ばし俵神輿を担ぎ、勇壮に揉み合います。



各地区を巡った俵神輿が続々と境内に集結

12日(土) 前夜祭 午後6時半頃

神楽奉納 上河内神楽団(十二神祇と伝統花火)

例大祭の前夜、神楽は拝殿での神降し神事から始まります。河内地区には上河内神楽団と下河内神楽団があり、毎年交互に奉納されます。今年は上河内神楽団です。神楽の演目は、古くから広島県南西部で伝承される【十二神祇】で、まず御神託、四天王などの神祇舞、途中に鯛釣り・狐舞の余興舞があり、荒平・八岐大蛇などがあります。午後11時頃に最終演目予定です。

演目の合間には、高さ15mも吹き上げる吹き火、火の粉が傘のように降り注ぐ傘火の花火があります。境内いっぱいになり吹き上がる火の滝は迫力満点、ここま



当日は、りんご飴などの夜店も並び、境内は沢山の参拝者で賑わいます。



どれにしようかな?

わしらの街で祈願祭

祈願は、地元を見守る氏神様・河内神社にお願ひしましょう。

神社で: 安産祈願、初宮参り、厄払い、歳祝い、車祓い、合格祈願、家内安全など
現地で: 地鎮祭(新築)、家祓い(入居)、上棟祭、商売繁盛、安全祈願、開店祭など
不明なことや日時、式次第などご相談、ご予約ください。 河内神社社務所(082)928-2283



清々しく家族揃って願いを氏神様に

七五三祭 11月15・16・17日 午前9時~午後4時

男子3歳・5歳、女子3歳・7歳の年には、氏神様に七五三詣をして、お子様が無事に成長したことを感謝し、更なる成長をお祈りします。お祝いに授かった千歳飴を持って、ご神前で記念写真をとりましょう。

10月中旬~11月頃まで受け付けています。15・16・17日以外は希望日時をご相談・ご予約ください。

河内神社社務所(082)928-2283

【七五三早見表】 数え年(令和元年版)

3歳男 平成29年生(2017) 5歳男 平成27年生(2015) 7歳女 平成25年生(2013)

新嘗祭 12月8日(日) 午後2時

今年の締めくくりの大祭です。氏子の皆様から奉納されたお初穂と、今年収穫した新米や作物を神様にお供えしてお祭りを行います。河内小学校6年生4名による巫女舞奉納もあります。今年一年の神様の恩に感謝し、今後変わらぬご加護をお祈りします。



神様へ感謝と祈りの巫女舞



ご神前で凛々しい七五三



“河内神社の御札”と“神宮大麻”

明るく家庭の「パワースポット」！

身近で生活を見守る地元の氏神様「河内神社」の御札と日本全土を広く見守る神様「天照皇大神」(伊勢の神宮)の御札を家庭におまつりしましょう。



思わず神様をお願いした経験があると思います。何かを決心した時、嬉しいことがあった時、大事なことをなさそうとする時、また、静かに自分を見つめ直す時など、心を込めてお祈りする家庭のより処となります。

新年を迎えるにあたっては、新しい力、新しい命をいただくため、御札・御守は新しく取り替えます。古い御札、御守は氏神様に納め、一年を無事に過ごせたことに感謝しましょう。御札・御守は河内神社で授与しております。

河内神社	御札	500円
伊勢の神宮	中御札	1000円
伊勢の神宮	小御札	800円
伊勢の神宮	大麻	1200円
伊勢の神宮	小神籠	1000円
伊勢の神宮	御神籤	100円
伊勢の神宮	健康長寿良縁結び・就職・交通安全御守	500円

横に並べる場合

重ねる場合

御札のまつり方

河内敬神婦人会だより

— 全国大会(広島) —

先日9月12日、H B Gホールにて奉祝天皇陛下御即位第70回全国敬神婦人大会 広島大会が行われました。広島で開催されることが一年半前に決まり、会場準備から内容まで広島県敬神婦人会で検討し、台風や大雨にならないようにと祈りながら当日を迎えました。

全国から1400名もの参加者があり、盛会のうちに終



来年は北海道で全国大会が行われることになっていきます。



御即位記念祭詞奏上 次の例大祭・新嘗祭

天皇陛下におかせられました。10月22日に即位の礼、11月14・15日に大嘗宮の儀を執り行い、広く内外に即位を公に宣明されます。

河内神社では例大祭、新嘗祭にて令和の大御代の弥栄を祈念申し上げ、祝詞を奏上いたします。多くの参拝の皆様とお祝い申し上げたく存じます。

(宮司 山田茂雄)

河内神社百年遷宮事業奉賛会だより

9月23日第2回奉賛会合同会議が開催されました。



幸せつななる河内神社は 令和5年(2023)に 合祀100年を迎えます

完成イメージ図
会議では会長挨拶の後、遷宮事業、趣意書、パンフレット等を説明し、それぞれの役割など具体的な奉賛活動について、打合せが行われました。これから百年、河内神社が氏子の皆様の心のより処として有り続けるために、この事業を成し遂げなければなりません。

河内神社の境内の玉垣353基には、大正13年(95年前)当時の奉賛者のお名前が彫られています。地域の懐かしいお名前も見ることができ、当時は地域を挙げての事業だったのを感じます。今回の遷宮事業では、奉賛会の地区委員の皆様がこれからご奉賛のお願いに伺うと思います。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

神社豆知識

“花”はなとは

奉納神楽の当日、観客は神楽団や舞人への御礼を込めて帳場受付で寄付をします。このお金を「花」といいます。神楽の鑑賞は基本的に無料ですが、「花」は伝承文化を地域で支えるマナーとなっています。



子供たちにも大人気の狐舞

河内神社のこよみ(令和元年度)

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南彩が丘の氏神様

10月12日(土)	午後6時半	秋祭前夜祭(神楽奉納)
10月13日(日)	午後2時	秋祭(例大祭)
11月15日	前後	七五三祭
12月8日(日)	午後2時	新嘗祭(大祭)
12月31日(火)	午後6時	除夜祭(大祓)
1月1日(祝)	午前9時	歳旦祭
2月11日(祝)	午前10時	建国記念祭
3月8日(日)	午後2時	稲荷神社大祭
毎朝		日供祭
毎月1日・15日		月次祭



河内神社ホームページ

幸せつななる河内神社

河内神社平成30年度決算(30年4月〜31年3月)

(繰越金)二百四万円／(歳入)八百九十五万五千円／(歳出)七百八十八万七千円／(剰余)三百六十七万八千円。〔歳入の主なもの〕祈禱料百四十二万円、賽銭八十九万円、御札・御守・破魔矢等三百四十万円、玉串料百五十三万円、初穂料・祭典費百三十三万円。〔歳出の主なもの〕祭典費五十五万円、神職給三百万円、御札・御守・破魔矢等の仕入百四十九万円、事務費五十八万円、会議費・雑費等百三十三万円、教化費・保険・負担金等百二十四万円。〔剰余内訳〕予備資金百万円、繰越金二百四十万八千円。決算報告は、毎年4月に監事により監査を受け、氏子総代会にて承認を受けています。